



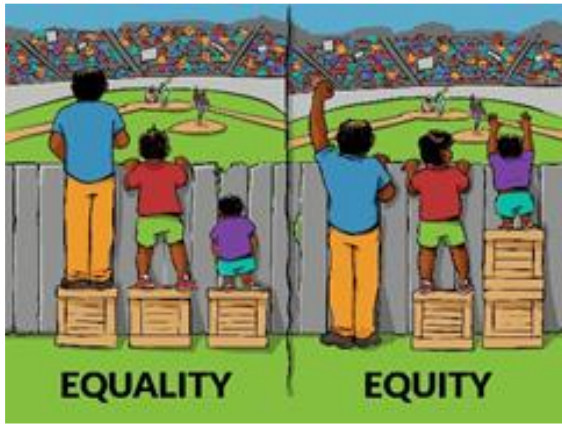
学校だより

墨田区立第三吾嬬小学校

校長 川中子登志雄

令和3年6月1日

6月号



“Interaction Institute for Social Change | Artist: Angus Maguire.” January 13, 2016

「平等(Equality)」 と「公平・公正(Equity)」

校長 川中子登志雄

これは、少し前に日本でも話題になったイラストです。「平等」と「公平・公正」の違いがうまく表されています。

絵を見て分かる通り、背の高い大人にも、低い子供にも一律で同じ扱いをするのが「平等(平らに等しい)」で、「試合を見る」という目的達成のために障害となっている壁を越えなければならないとき、一人一人の人の状態や都合に合わせて、それぞれ別の扱いをするのが「公平・公正(公に平ら、正しい)」という言葉の表すところです。ゴルフや競馬などのゲームで、それぞれの技能等のレベルにあわせて与えられる「ハンデ(イキャップ)(handicap)」も同じ思想で

大辞林によると「スポーツ競技などで、技量差のある者同士の均等をはかるために、強者につける不利な条件。また、弱者に与える有利な持ち点。」と定義されています。

本校の教育で目指す「思いやりをもち、共に生きる人」の造る世界は、差別のない世界であることはもちろんのこと、単なる「平等」ではなく、「公平」を模索していく世界です。しかし、これは簡単には実現できるものではありません。例えば、子供たちは、先生が「公平」な扱いをすると、「ずるい！」という反応をすることがあります。このようなことは、ご家庭でもきょうだいの間でよく起こるのではないのでしょうか。

「公平」は、単なる感情ではなく、理性で判断・理解し、実践すべきものです。「公平」を理解し、認めることー「思いやり」とは、そのようなものです。そして、それは、「自ら学び、考え、行動する」という努力を通して獲得する能力です。

長く続く新型コロナウイルス感染症の影響で、子供たちに目に見えない様々な影響が出てきています。第三吾嬬小学校では、個に応じた支援をさらに充実させるために、今年度「学習室『みどり』」を開設することにしました。ここは、集団生活を強いる学校の中で、しばらくの間ひとりで過ごして、自分を取り戻すための時間をもつことができるような「居場所」です。現在は、学校全体で運営を始めましたが、将来的には専門のスタッフ(教職員)を配置し、いつでも、誰にでも対応できるようにしたいと考えています。個々の子供の課題は様々です。一人一人の子供を公平に大切にしていきます。



タブレット端末の使用方法についての確認

児童用タブレット端末では、you tube などの動画サイトはフィルタリング機能により、見られないように設定されています。しかし、そのフィルタリング機能を外そうとする等、ルールにそった使い方ができない児童もおり、都度、指導しているところで。教育委員会にも伝え、現在対応を検討中です。今一度、家庭でのタブレット端末の使用方法・ルールを確認していただくようお願いいたします。

学校と家庭が協力をして、タブレット端末の正しい使い方を徹底させたいと思います。

児童がタブレット端末の間違った使い方を続ける場合は、担任にタブレット端末を返却してもらうこともあります。

体育的行事委員会より

6月は「新体力テスト」の実施期間となります。8種目の運動記録で「体力面」の調査を行い、マークシートにて「生活習慣」の調査を行います。昨年度の記録から、第三吾嬭小学校の児童の課題が明確になっています。学校全体としては、筋持久力(上体起こし)、全身持久力(20mシャトルラン)が全国・東京都と比較すると下回る結果となっています。加えて、男子は柔軟性(長座体前屈)、女子は投力(ソフトボール投げ)が課題となります。学校でも対策を講じて授業を行っていきませんが、ご家庭でも短時間で運動に取り組ませていただくなど、ご協力いただければ幸いです。よろしくお願いいたします。

<種目別対策運動事例> *簡単に取り組めるものを紹介

① 上体起こしの対策



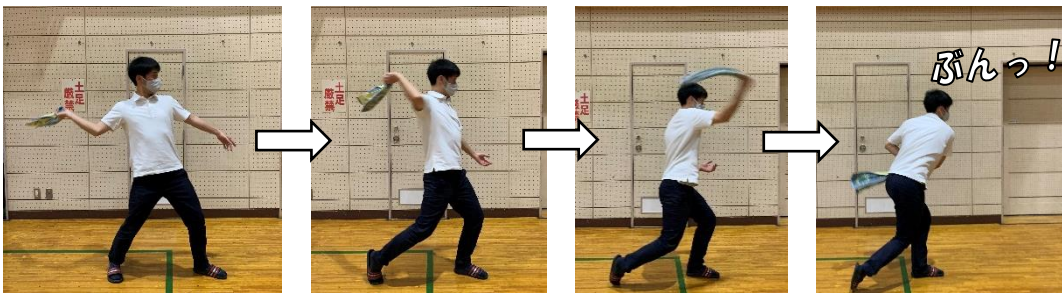
- ① 仰向けで寝る
- ② 上体を少し起こし、かかとも少し上げる
- ③ 左の写真のようにキープ！
実態に合わせて、もう少しでできる時間を決めて取り組みます。

② 長座体前屈の対策



- ① 腕立ての姿勢をします。
- ② 片足の裏を床につけます。その足の上にもう片方の足を乗せます。
- ③ かかとを離さないように、両手を徐々に足の方へ近づけ、伸びを感じたところで止めます。
床についている足の膝裏が伸びます。足を替えてできるとよいです。

③ ソフトボール投げの対策



- ① タオルを半分に折って、利き手で持ちます。
- ② 上方から前に振り下ろすように腕を振ります。
- ③ ぶんっと音が鳴るように強く行います。
周りに注意して行うようにします。

④ 20mシャトルランの対策は、親子で散歩をしていただくとよいです。